

医学教育モデル・コア・カリキュラム(卒前)

医師として求められる基本的な資質・能力

1 プロフェッショナリズム

2 医学知識と問題対応能力

3 診療技能と患者ケア

4 コミュニケーション能力

5 チーム医療の実践

6 医療の質と安全の管理

7 社会における医療の実践

8 科学的探求

9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

臨床研修の到達目標(卒後)

医師としての基本的価値観
(プロフェッショナリズム)

1 社会的使命と公衆衛生への寄与

2 利他的な態度

3 人間性の尊重

4 自らを高める姿勢

資質・能力

1 医学・医療における倫理性

2 医学知識と問題対応能力

3 診療技能と患者ケア

4 コミュニケーション能力

5 チーム医療の実践

6 医療の質と安全の管理

7 社会における医療の実践

8 科学的探求

9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

臨床研修到達目標と医学教育モデル・コア・カリキュラムの関係について(診療科)(案)

医学教育モデル・コア・カリキュラム(卒前)

臨床実習で必ず経験すべき診療科

1 内科

2 外科

3 小児科

4 産婦人科

5 精神科

6 救急科

7 地域医療実習

8 総合診療科

9 シミュレーション教育*

臨床研修の方略(卒後)

臨床研修における必修診療領域

1 内科

2 外科

3 小児科

4 産婦人科

5 精神科

6 救急科

7 地域医療

※ 8 総合診療科でも可

※医療安全の観点から臨床現場を想定した環境でシミュレーションによるトレーニングを積むことで、実際の臨床現場で対処できるようになることを目的としている。

臨床研修における研修医評価票の例(案)

1. 医学・医療における倫理性:

診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。

レベル1 モデル・コア・カリキュラム (卒前レベル)	レベル2	レベル3 臨床研修の到達目標 (臨床研修終了時で期待される レベル)	レベル4
■ 医学・医療の歴史的な流れ、臨床倫理や生と死に係る倫理的問題、各種倫理に関する規範を概説できる。	人間の尊厳と生命の不可侵性に関して尊重の念を示す。	人間の尊厳と生命の不可侵性を尊重する。	モデルとなる行動を他者に示す。
■ 患者の基本的権利、自己決定権の意義、患者の価値観、インフォームドコンセントとインフォームドアセントなどの意義と必要性を説明できる。	患者のプライバシーに最低限配慮し、守秘義務を果たす。	患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。	モデルとなる行動を他者に示す。
■ 患者のプライバシーに配慮し、守秘義務の重要性を理解した上で適切な取り扱いができる。	倫理的ジレンマの存在を認識する。	倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。	倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づいて多面的に判断し、対応する。
■ 患者のプライバシーに配慮し、守秘義務の重要性を理解した上で適切な取り扱いができる。	利益相反の存在を認識する。	利益相反を認識し、管理方針に準拠する。	モデルとなる行動を他者に示す。
	診療、研究、教育に必要な透明性確保と不正行為の防止を認識する。	診療、研究、教育の透明性を確保し、不正行為の防止に努める。	モデルとなる行動を他者に示す。